

## 6 しゃかいのきばん

### 地域の生活や活動を支える基盤を整え、交通・情報のネットワークの充実と住環境の循環により、市域内外の交流を拡大します

本市は、恵み豊かな自然に抱かれ、歴史と伝統ある城下町の面影や、自然景観と調和した美しい農山漁村の風景を併せ持ち、鶴岡らしい歴史と景観を大切にしたまちづくりの整備に努めてきました。

こうしたまちづくりを踏まえ、これからも自然と都市が調和した活力あるまちづくりを進めるため、都市機能の集積を図りながら、まちを外に拡散させず市街地への住替えを促進する居住サイクルの再編や、先端研究産業との連携による多様な住環境整備や賑わいづくり、幹線道路と路線バスによるネットワーク形成と生活拠点の構築を大きな柱に据えて取り組みを進めます。

快適な都市環境の形成は、コンパクトな市街地を形成するため、市街地の無秩序な拡大を抑え、一体的な土地利用を進めることとあわせ、郊外地との道路や交通のネットワークを構築し、住民生活の利便性向上を図ります。中心市街地については、都市機能の集積やまちなか居住の誘導を図り、都市のエリアの特性に合わせた賑わいと魅力あるまちづくりを推進します。さらに、歴史や文化など個性を大切にしたまちづくり、美しい景観の保全と形成、住民が憩い安らぎある公園と緑地の整備、保全を推進します。

交流・連携の推進及び基盤の整備は、歴史的、文化的に関係の深い新潟から秋田にかけての日本海沿岸の各県・各都市との間で相互に連携、協力を推進し、地域の活性化に繋がります。特に、相互の交流を支える高速道路、空港、鉄道などの高速交通ネットワークについて、関係市町村や関係機関と一体となって整備を促進します。また、一般国道など幹線道路網の整備促進とあわせ、市道の計画的な整備や維持管理、長寿命化、防雪及び除雪対策の充実を図ります。地方バス路線については、公共交通ネットワークの効率化や再編、整備を進め、市民の日常の移動手段を確保します。さらに、情報化社会の進展に対応した ICT の利用環境を整え、行政サービスの充実や市民の利便性向上を図ります。

安全・安心な生活基盤の整備は、安心して暮らせる住環境づくりや住宅等建築物の耐震化、人口減少社会に対応した適切な公共施設の管理を進め、誰もが安全で快適な生活を送れる環境を整えます。また、市民生活や産業活動に不可欠な上下水道については、将来も安定した事業運営が可能となるよう、経営効率化や経営基盤の強化に取り組み、安全な水の安定供給と水環境保全に努めます。

計画的な治水強化と市土の保全は、風水害をはじめとする自然災害に備えるため、河川や砂防等防災施設、海岸保全施設の整備を促進し、自然災害から市民の生命や財産を守ります。